

弁理士クラブ旅行会(@浜松 11/9~10)の報告

執筆者：都野真哉

11月9日(土)から11月10日(日)にかけて、弁理士クラブ主催の懇親旅行会に参加しましたので、当日の様子をご報告いたします。今回で二回目の参加となります。今年度の懇親旅行会には21名が参加し、昨年より7名ほど少ない参加者数でしたが、大変盛り上がった会となりました。



開催地は静岡県浜松市で、浜名湖近くでの開催でした。浜松市は静岡県西部に位置する都市で、温暖な気候と豊かな自然に恵まれています。日本有数の楽器メーカーやオートバイメーカーの発祥地としても知られ、産業が盛んな地域です。また、ウナギやみかんといった特産品も有名です。

今回、私は有志の先生方と昼頃に到着し、浜名湖のほとりうなぎ料理を堪能しました。うなぎには関東風と関西風で調理法に違いがあり、“蒸し”や“焼き”の工程、背開き又は腹開き、味の特徴にそれぞれの個性がありますが、今回の料理は関西風でした。私は関東出身ですが、関西風、関東風いずれも美味しく楽しめるため、大満足でした。

会場となった「グランドホテル浜松」は、浜松駅から近く、浜松市の迎賓館として幅広い層から利用されてきた格式ある料亭「聴涛館」の50年以上の歴史を受け継ぐホテルです。宴会はその「聴涛館」で行われ、大変盛り上がりました。今年は、富澤先生、大井先生から中部委員会の活動についてご報告いただき、中部地方の先生方が熱意ある活動をされていることを知る良い機会となりました。



2日目は、観光バスでの観光組とゴルフ組に分かれ、それぞれ充実したオプションを満喫しました。ゴルフ組は、静岡の名門コースの一つである浜松シーサイドゴルフクラブでラウンドしました。私は、同組の木下先生と同じティー（レギュラー）からプレーしましたが、全く歯が立たず、次回はぜひリベンジしたいと思っています。一方、観光バスツアーでは、うなぎパイファクトリーやスズキ歴史館を見学し、ランチには地元名産のウナギを堪能されるなど、観光組の皆様も今回の旅を大いに楽しんでいただけたようです。

最後に、今回の旅行会を成功に導いてくださった櫻田幹事長をはじめ、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。そして、参加してくださった皆様、一緒に楽しい時間を過ごせたことに心より感謝いたします。再びこのような機会が訪れることを心待ちにしております。本当にありがとうございました。